

書写 小学校第6学年 用紙に合った文字の大きさ

文字のバランスを確認する活動

動画再生

外部出力

「中秋の名月」の5文字を半紙1枚に書く活動で、文字の大きさやバランス、形など注意しながら書かなければならないが、デジタル教科書を活用することで、文字の大きさやバランス、形を視覚的に確認させることができる。

また、実際に書いている映像を見せ、その映像と同じタイミングで空書きさせることで、運筆についてイメージを掴ませるのに効果的であった。

個別の学習の際には、児童がいつでも大きさや形を確認できるように、スクリーンに映像を映し出し、定期的に再生を繰り返すことで、個に応じた情報を提供することができた。



映像を見て運筆を確認する児童

書写 小学校第6学年 六年生のまとめ

字画確認場面での活用

拡大縮小

これまでに学習したことをいかして、「永遠」を書かせた。「永遠」には、「点」「左はらい」「右はらい」「しんにょう」など今までに学習した部分が多く含まれている。

授業では、全体学習として、教室のモニターに文字を映し、説明した。

しかし、デジタル教科書を使用することで、児童が手元で大きさを変えながら、見ることができ、細かい点画のつながり、筆圧の変化、穂先の動き、文字の大きさ、配列などを個別に何度でも確認することができ、学習意欲を高めることができる。

書写の授業のみならず、休み時間や家庭学習においても活用できる。



画像で細かい部分を確認する児童

書写 小学校第6学年 六年生のまとめ

字画確認場面での活用

書き込み

外部出力

まず、学級全体で、字の特徴を確認する。その時、指導者用デジタル教科書の「筆使いの動画」や「点画ピース」を活用すれば、効果的に見つけていくことができる。

特に、「点画ピース」を活用し、点画のつながり、接し方、交わり方、はらいの方向などについて、一つのモニターを見ながら意見を交流することができるので、学級全体で同じ事柄について確認することができる。

次に、児童一人一人が自分のめあてを決め、作品の作成を行う。

その時、学習者用デジタル教科書の「書き込み機能」を活用することで、視覚的にめあてを意識することができる。特に、「書き込み機能の付箋」を活用し、書くときに大切に箇所にコメント入りの付箋を貼ることで、常にめあてを意識しながら、書くことができる。



形の特徴を見つけ自分のめあてを書き込む児童